

情報

(情報 I)

発 行 者			教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
番 号	名 称	略 称				
2	東京書籍	東書	情 I 002-901	B 5	202	令和 7 年
2	東京書籍	東書	情 I 002-902	B 5	234	令和 7 年
7	実教出版	実教	情 I 007-901 ◆	B 5	216	令和 7 年
7	実教出版	実教	情 I 007-902 ◆	B 5	216	令和 7 年
7	実教出版	実教	情 I 007-903 ◆	B 5	200	令和 7 年
7	実教出版	実教	情 I 007-904 ◆	A B	192	令和 7 年
7	実教出版	実教	情 I 704 ◆	B 5	206	令和 3 年
9	開隆堂出版	開隆堂	情 I 009-901	A B	162	令和 7 年
50	大修館書店	大修館	情 I 050-901	B 5	194	令和 7 年
104	数研出版	数研	情 I 104-901 ◆	B 5	226	令和 7 年
104	数研出版	数研	情 I 104-902 ◆	B 5	206	令和 7 年
116	日本文教出版	日文	情 I 116-901	B 5 変型	222	令和 7 年
116	日本文教出版	日文	情 I 116-902	B 5 変型	238	令和 7 年
116	日本文教出版	日文	情 I 711	B 5 変型	128	令和 3 年
116	日本文教出版	日文	情 I 712	B 5 変型	101	令和 3 年
183	第一学習社	第一	情 I 183-901	B 5	190	令和 7 年
183	第一学習社	第一	情 I 713	A B	200	令和 3 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

情報 I		冊数	13冊
発行者の略称・教科書の番号	東書002-901 東書002-902 実教007-901 実教007-902 実教007-903 実教007-904 実教704 開隆堂009-901 大修館050-901 数研104-901 数研104-902 日文116-901 日文116-902 日文711 日文712 第一183-901 第一713		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【共通教科情報科の目標】

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【情報 I の目標】

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【情報 I の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1) 情報社会の問題解決 ア 知識及び技能 (ア) 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 (イ) 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。 (ウ) 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。 イ 思考力、判断力、表現力等 (ア) 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。 (イ) 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する。 (ウ) 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。	(1)については、この科目の導入として位置付け、(2)から(4)までとの関連に配慮する。アの(イ)及び(ウ)並びにイの(イ)及び(ウ)については、生徒が情報社会の問題を主体的に発見し明確化し、解決策を考える活動を取り入れる。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>(2) コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>ア 知識及び技能</p> <p>(ア) メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解する。</p> <p>(イ) 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。</p> <p>(ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付ける。</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等</p> <p>(ア) メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択する。</p> <p>(イ) コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考える。</p> <p>(ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善する。</p> <p>(3) コンピュータとプログラミング</p> <p>ア 知識及び技能</p> <p>(ア) コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解する。</p> <p>(イ) アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付ける。</p> <p>(ウ) 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する。</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等</p> <p>(ア) コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。</p> <p>(イ) 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善する。</p> <p>(ウ) 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える。</p> <p>(4) 情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>ア 知識及び技能</p> <p>(ア) 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。</p> <p>(イ) データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解する。</p> <p>(ウ) データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。</p>	<p>(2) のアの(イ)については、身近で具体的な情報デザインの例を基に、コンピュータなどを簡単に操作できるようにする工夫、年齢や障害の有無、言語などに関係なく全ての人にとって利用しやすくする工夫などを取り上げる。</p> <p>(3) のアの(イ)及びイの(イ)については、関数の定義・使用によりプログラムの構造を整理するとともに、性能を改善する工夫の必要性についても触れる。アの(ウ)及びイの(ウ)については、コンピュータを使う場合と使わない場合の双方を体験させるとともに、モデルの違いによって結果に違いが出るということについても触れる。</p> <p>(4) のアの(ア)及びイの(ア)については、小規模なネットワークを設計する活動を取り入れるものとする。アの(イ)及びイの(イ)については、自らの情報活用の評価・改善について発表し討議するなどの活動を取り入れる。アの(ウ)及びイの(ウ)については、比較、関連、変化、分類などの目的に応じた分析方法があることも扱う。</p>

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
イ 思考力、判断力、表現力等 (ア) 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考える。 (イ) 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考える。 (ウ) データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。	

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究

調査項目	対象の根拠(目標等との関連)
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成	学習指導要領 第2章 第10節 第3款 1 (1)
b 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	学習指導要領 第2章 第10節 第3款 1 (1)
その他の項目(各教科共通)	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成
 - ・ 各単元などにおいて、教科の目標に結び付けた資質・能力の育成について見取る。
- b 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実
 - ・ 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報と情報技術を活用して問題を発見し主体的、協働的に制作や討論等を行うことを通して解決策を考えるなどの探究的な学習活動の設定について見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 伝統的な男女の役割が分かるような記述

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成
 - ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」が言及されているので、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的な調査をする。
- b 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた学習活動の充実
 - ・ 学習指導要領の中に、「情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報と情報技術を活用して問題を発見し主体的、協働的に制作や討論等を行うことを通して解決策を考えるなどの探究的な学習活動の充実を図ること」が言及されているので、このような学習活動が設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取り扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会教育目標の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 伝統的な男女の役割については、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	東書
教科書番号	情Ⅰ002-901
教科書名	新編情報Ⅰ

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・伝わる情報のメリットとデメリットを考える活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・スマートフォンを使う状況を思い浮かべて、スマートフォンがない時代はどうしていたかを調べる活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・身の回りにある、コンピューターが入っている製品を挙げる活動などを通じて、コンピューターや外部装置の仕組みや特徴、コンピューターでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピューターや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・インターネットが今後、どのようなことに利用されていくのかを考え、話し合う活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・実習編を中心に、「アイディアの大量生産」や「クラスの実態調査」などをテーマとして扱う中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	---

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・緊急地震速報を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・ピクトグラムの取り扱いで、オリンピックでのピクトグラムの採用方法について紹介するなど、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	東書
教科書番号	情Ⅰ002-902
教科書名	情報Ⅰ Step Forward!

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・記録のためのメディアの特徴を表に整理する活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・車のスピードメーターに、アナログ表示とデジタル表示の両方が使われている意図を考える活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・目玉焼きを作る順番などを考える活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・身の回りの端末を思い出し、それぞれどのような情報システムが活用されているかを考える活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・実習編の中で、「検索のコツ」や「仕事の研究」などのテーマを扱う中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	--

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・ハザードマップ、災害時帰宅マップなどモデル化や災害時のデジタル通信を例として取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・東京オリンピックでのピクトグラムの採用方法について紹介したり東京2020オリンピック、パラリンピックのメダルがスマートフォンや小型家電から素材を集めたことを紹介する中で、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされており、また見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	実教
教科書番号	情Ⅰ007-901◆
教科書名	高校情報Ⅰ 新訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・「〇〇は情報である」の〇〇に当てはまる具体例をできるだけたくさんあげる活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・Webページがもつ情報の伝播性と残存性について、テレビと比較しながら、その特徴を考える活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・インターフェイスとして機器同士を接続する規格を定めることのメリットを考える活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・学校内や家のネットワーク機器を調べる活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	探究的な課題を扱った例題や問題等の中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動の充実を図っている。
---	----------------------------------	---

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・ハザードマップを取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・ピクトグラムの取り扱いで、オリンピックでのピクトグラムの採用方法について紹介するなど、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮して編修されている。また、見やすいユニバーサルデザインを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	実教
教科書番号	情Ⅰ007-902◆
教科書名	最新情報Ⅰ 新訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・人工知能の活用場面や事例等を調べる活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・スマートフォンのメッセージ交換アプリで文字やイラスト、写真を相手に送り届ける過程で関係するメディアをあげる活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・コンピュータに接続されている情報機器を、データを記憶する機器、データを入力する機器、データを出力する機器、ネットワーク機器に分類し、採用されているインターフェースの種類を調べる活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・LANを構成するための装置などの種類と機能、接続方法を調べ、小規模なLANの構成を考えてみる活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・Discussionの中で、「生成AIと著作権者の権利の関係はどうなっていくか」や「コンピュータはいつからコンピュータになったのか」などのテーマを扱う中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	--

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮して編修されている。また、見やすいユニバーサルデザインを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	実教
教科書番号	情Ⅰ007-903◆
教科書名	情報ⅠFlex

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・残存性、複製性、伝播性について、具体的な事例を挙げる活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・間接コミュニケーションの同期型と非同期型について具体的な例をそれぞれ挙げる活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・家電製品に利用されている組み込み機器をインターネットに接続することで、便利になったことを調べ、その特徴をまとめる活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・普段利用しているSNSやWebサイトで、どのような情報の提供が求められているか、利用規約やCookieの情報提供の同意画面などを見てまとめる活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・各章に実習が設けられ、「アンケートを作成して結果を整理・分析しよう」「学校の魅力を伝えるポスターを作成しよう」などをテーマとして扱う中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	---

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・全国瞬時警報システムを取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・情報デザインの事例として、1964年東京オリンピックのピクトグラムを取り上げるなど、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮して編修されている。また、見やすいユニバーサルデザインを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	実教
教科書番号	情Ⅰ007-904◆
教科書名	図説情報Ⅰ 新訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・残存性、複製性、伝播性について、具体的な事例を挙げる活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・スマートフォンには、ニュースを読んだり、音楽を聴いたり、画像を記録したりするなど、様々な機能があるが、スマートフォンはどのようなメディアであるか説明する活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・10進法の16～31について、10進数と2進数、16進数の表を作る活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・西暦、値段、住所、学年などのデータが何尺度になるのかを考える活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・各章に実習が設けられ、「アンケートを作成しよう」「伝わりやすいデータに視覚化しよう」などをテーマとして扱う中で、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	---

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮して編修されている。また、見やすいユニバーサルデザインを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	実教
教科書番号	情Ⅰ704◆
教科書名	高校情報Ⅰ Java Script
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・「〇〇は情報である」の〇〇に当てはまる具体例をできるだけたくさんあげる活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・公共の場でスマートフォンを利用する際のマナーについて話し合う活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・ビット数と表現できる情報の数の関係を調べる活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・コンピュータ室などのLANを構成する機器を調べる活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。
b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実
	・探究的な課題を扱った例題や問題等の中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動の充実を図っている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・ハザードマップを取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮して編修されている。また、見やすいユニバーサルデザインを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	開隆堂
教科書番号	情Ⅰ009-901
教科書名	実践 情報Ⅰ

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・カラーライスのレシピをロジックツリーに当てはめて調理の準備と手順を作成する活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・プレゼンテーションソフトウェアの色の設定画面では、色相、明度、彩度を調整できることを意識して、金色を探してみる活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・身の回りのアナログ表現とデジタル表現を探してみる活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・LANをデザインする活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・実習のページを設けて、モデル化とシミュレーションをしてみる活動やデータ分析をしてみる活動などにおいて、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	---

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・3Dスキャナを活用し歴史的な建造物を測量し、デジタル化する宮大工の事例を通して、我が国の伝統や文化におけるデジタル技術の活用の例が紹介されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・コンピュータシミュレーションの例として、大規模な災害時における被害の程度や範囲を予想することを取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・東京五輪におけるUD対応を取り上げるなど、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルの視点から、多くの生徒が見やすいように配慮している。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	大修館
教科書番号	情Ⅰ050-901
教科書名	高等学校 情報Ⅰ

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・人工知能（AI）や機械学習など、データ科学に関する技術が社会において有効活用されている事例を新聞やインターネットで調べる活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・どのような表現メディアや伝達メディアを用いたら効果的に伝えることができるか考える活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・コンピュータ本体に接続される機器を調べてみたり、それぞれがどのような役割をし、どのようなインターフェイスで接続されるかについて調べる活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・家庭や学校で使用されるネットワーク機器について調べ、それらの構成を模式図で表してみる活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・各章末に「ワークショップ」というページを設けて、未来の社会を提案したり、便利なアプリを考えたりする活動を設定したり、「問題解決の実践」という各章の学びを活用するページの中で、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	--

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・シミュレーションにおいて、実施が困難または不可能な実験や観測の例として災害の際の避難行動を分析した実験の例を取り上げたり、身近な情報システムを例として、緊急地震速報や統合災害情報システムを取り上げたりして、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・1964年東京オリンピックで用いられたピクトグラムを取り上げるなど、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザイン書体を使用するとともに、カラー・ユニバーサル・デザインにも配慮している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	数研
教科書番号	情Ⅰ104-901◆
教科書名	改訂版 高等学校 情報Ⅰ

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・「情報」とは何かについて考える活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・バケツに入れた水の量はアナログ量か、デジタル量かについて考える活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・論理回路を作って、たし算をおこなうためには、どのような回路をつくれればよいか考える活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・冗長なビットを2ビットにする活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・巻末に実習ページを設けて、「問題解決の立案」、「プログラミング」や「データ分析」をテーマに情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	---

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・コラムにおいて災害とデマを扱うなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・東京2020オリンピックでのドローンショーを扱うなど、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を使用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	数研
教科書番号	情Ⅰ104-902◆
教科書名	改訂版 情報Ⅰ Next
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・どのような条件を満たしていれば、信頼できる情報源と言えるか話し合う活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・電話で話している相手に、アナログ情報だけを使って数字を使わずに自分の身長を伝えることができるか、また、正確に伝えるためには、何が必要か話し合う活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・自宅用にコンピュータを買う場合、どのハードウェアの性能を重視するか、コンピュータの用途とともに、基準について話し合う活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・モバイル通信について、1つのセル内で利用できる機器の数の上限が一定であった場合、広いほうがよい地域や、狭いほうがよい地域をそれぞれ話し合う活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。
b	
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・各章に実習のページを設け、「学校をきれいにするには」というテーマで、解決策を考える活動や、音や画像のデジタル処理、プレゼンテーション用のスライド作成などについて取り組む中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	・ヘイトスピーチをデジタルシティズンシップに関連づけて記述されているなど、情報モラルの学習を進める中で人権意識の醸成を促す場面が設定されている。
安全・防災や自然災害の扱い	・災害とデマを扱うなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・東京2020オリンピックでのドローンショーを扱うなど、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を使用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	日文
教科書番号	情報Ⅰ116-901
教科書名	情報Ⅰ

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・個人情報の保護に関する法律について考える活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・情報格差を縮めるべく、高齢者や障害のある人が情報を得やすいように、Webサイトでは、どのような工夫がされているか調べる活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・50色の色鉛筆にカラーコードを割り当て、これらに符号を割り当てるとき、最低何ビット必要か考える活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・学校で生徒が利用できるネットワークについて調べる活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・部員不足の解消を例にした問題解決の方法を考える活動、著作権侵害について考える活動などの中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
---	----------------------------------	--

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・緊急地震速報を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	日文
教科書番号	情Ⅰ116-902
教科書名	情報Ⅰ ADVANCED

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・数字や文字列がデータと情報のどちらに該当するか分類する活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・通信方式において、パケット交換方式が回線交換方式に比べて優れている点について考える活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・50色の色鉛筆にカラーコードを割り当て、これらに符号を割り当てるとき、最低何ビット必要か考える活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・1GBのデータを10Mbpsの回線を使って転送するとき、伝送時間は、何分何秒になるか考える活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。

b	<table border="1"> <tr> <td>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実</td> <td>・問題解決の手順を学ぶページを設定したり、各章において、100円の清涼飲料を販売する自動販売機で、100円硬貨が投入されたら、商品の購入ランプを点灯するなどの要件をもつアルゴリズムを表現するなどのテーマを題材とした課題を設定したりする中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。</td> </tr> </table>	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・問題解決の手順を学ぶページを設定したり、各章において、100円の清涼飲料を販売する自動販売機で、100円硬貨が投入されたら、商品の購入ランプを点灯するなどの要件をもつアルゴリズムを表現するなどのテーマを題材とした課題を設定したりする中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・問題解決の手順を学ぶページを設定したり、各章において、100円の清涼飲料を販売する自動販売機で、100円硬貨が投入されたら、商品の購入ランプを点灯するなどの要件をもつアルゴリズムを表現するなどのテーマを題材とした課題を設定したりする中で、情報を活用し、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。		

《その他の項目》（各教科共通）

我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・緊急地震速報を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	日文
教科書番号	情Ⅰ711
教科書名	情報Ⅰ 図解と実習一図解編
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・SNSへの投稿が原因で起こった事件・トラブルについて調べる活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・インターネットの登場でコミュニケーションに使われてきた伝達メディアがどのように変化したのかについて調べる活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・普段スマートフォンで利用している便利なアプリを友だちに紹介する活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・自宅にネットワーク用の機器があるかどうか確認したり、どのような種類のサーバがあるのか考える活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。
b	
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	別冊に記載。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・災害とソーシャルメディアについて取り上げたり、シミュレーションの例として、台風や洪水浸水想定区域図を扱ったりするなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	日文
教科書番号	情Ⅰ712
教科書名	情報Ⅰ 図解と実習－実習編
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	別冊に記載。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	別冊に記載。
(3) コンピューターとプログラミング	別冊に記載。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	別冊に記載。
b	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実 ・問題解決実習や、情報デザイン実習、プログラミング実習やモデル化とシミュレーション実習などにおいて、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・データ活用実習として、日本に上陸する台風についてポスターにまとめる例を取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。

教科名	情報
科目名	情報 I

発行者（略称）	第一
教科書番号	情 I 183-901
教科書名	高等学校 改訂版 情報 I
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・情報やメディアの定義を様々な専門分野の辞典で調べる活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・電子メール、Webサイト、コラボレーションツール、ソーシャルメディアなどのコミュニケーション手段の利点・欠点を考えてみる活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・自分が使っているパーソナルコンピュータやスマートフォンのメモリやストレージなどの容量、OSや、主に使っているアプリの種類を調べてみる活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・自宅や学校の教室のどこにルータやアクセスポイントなどがあるかを探し、LANがどのようにつながっているかを確認する活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。
b	
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・各章末に実習のページを設け、飼い猫の迷子を題材に、さまざまな情報やメディアの活用についての実習や、窓口での待ち時間のシミュレーション、地域の課題を調べて解決策を考える実習などにおいて、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・気象警報、津波警報、緊急地震速報などについて取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・1964年の東京オリンピック開催に向けて整備された羽田空港の案内サインデザインを取り上げるなど、オリンピック・パラリンピックについて学習する場面が設定されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮している。

教科名	情報
科目名	情報Ⅰ

発行者（略称）	第一
教科書番号	情Ⅰ713
教科書名	高等学校 情報Ⅰ

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
(1) 情報社会の進展と情報技術	・地震などの自然災害時における情報の伝達を例に、様々なメディアの特性について考える活動などを通じて、情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けたり、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解を深めたり、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解が深められるように工夫されている。
(2) コミュニケーションと情報デザイン	・昨日一日を振り返り、どんなコミュニケーションをどんな手段でとったのか挙げてみる活動などを通じて、メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解を深めたり、情報デザインが人や社会に果たしている役割の理解を深めたり、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けられるように工夫されている。
(3) コンピューターとプログラミング	・2進法を10進法に変換する活動などを通じて、コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解したり、アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付け、社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解が深められるように工夫されている。
(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	・コンピュータ教室の機器がどのように接続されているのか考える活動などを通じて、情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術、データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けられるように工夫されている。
b	
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習活動の充実	・各章末に実習のページを設け、飼い猫の迷子を題材とした、さまざまな情報やメディアを活用した実習、窓口での並び時間のシミュレーション、データによる部活動の分析などにおいて、情報に関する科学的な考え方を働かせた探究的な学習活動を設定している場面が設けられている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	災害時の情報の流れと伝達メディアを取り上げるなど、安全・防災や自然災害について学習する場面が設定されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・デジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮している。